

目標・内容の一覧(図画工作)(美術)

学部	小学部(図画工作)		
教科の目標			
表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識及び技能	(1) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができるようにする。		
思考力、判断力、表現力等	(2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。		
学びに向かう力、人間性等	(3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。		
段階の目標	1段階	2段階	3段階
知識及び技能	ア 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。	ア 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すようにする。	ア 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すようにする。
思考力、判断力、表現力等	イ 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。	イ 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。	イ 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	ウ 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。	ウ 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	ウ 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
内容	1段階	2段階	3段階
A 表現	ア 線を引く、絵をかくなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 日常生活の出来事や思ったことを基に絵をかいたり、作品をつくり出す活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 材料などから、表したいことを思い付くこと。	(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。	(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。
	(イ) 身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなどすること。	(イ) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すこと。	(イ) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくり出すこと。
B 鑑賞	ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 自分たちの作品や身の回りにある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

学部	中学部（美術）	
教科の目標		
表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	(1) 造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	(2) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。	
学びに向かう力、人間性等	(3) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。	
段階の目標	1 段階	2 段階
知識及び技能	ア 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	ア 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	イ 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。	イ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	ウ 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。	ウ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。
内容	1 段階	2 段階
A 表現	ア 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。	(ア) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。
	(イ) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。	(イ) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すこと。
B 鑑賞	ア 自分たちの作品や身近な造形品の鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 自分たちの作品や美術作品などの鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

学部	小学部（図画工作）		
内容	1段階	2段階	3段階
B 鑑賞	(ア) 身の回りにあるものなどを見ること。	(ア) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り，自分の見方や感じ方を広げること。	(ア) 自分たちの作品や，日常生活の中にあるものなどの形や色，表し方の面白さなどについて，感じ取り，自分の見方や感じ方を広げること。
	—	—	—
(共通事項)	ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などについて気付くこと。	(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などの違いに気付くこと。	(ア) 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じに気付くこと。
	(イ) 形や色などを基に，自分のイメージをもつこと。	(イ) 形や色などを基に，自分のイメージをもつこと。	(イ) 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつこと。

学部 内容	中学部（美術）	
	1段階	2段階
B 鑑賞	(ア) 自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気づき、自分の見方や感じ方を広げること。	(ア) 自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めること。
	(イ) 表し方や材料による印象の違いなどに気づき、自分の見方や感じ方を広げること。	(イ) 表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深めること。
(共通事項)	ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ること。	(ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解すること。
	(イ) 造形的な特徴などからイメージをもつこと。	(イ) 造形的な特徴などからイメージを捉えること。